

令和4年度複式学級、少人数のよさを生かした授業づくり（1期オンライン）研修講座実施要項

- 1 対象校種
- | | | | | | |
|---|-----|---|---|---|-----|
| 幼 | 小 | 中 | 高 | 特 | 教委等 |
| — | 232 | — | — | — | — |
- 2 目的 小規模校における授業づくりに関する専門性を高めるため、複式学級、少人数のよさを生かした指導の在り方について研修する。
- 3 育成指標 (教)授業計画, (教)授業実施, (教)評価, (教)授業研究・改善
- 4 期 日 [1期]令和4年7月21日(木)
- 5 形態 Web会議システム (Zoom) を用いた同時双方向通信によるオンライン研修
- 6 受講方法 9(2)を参照
- 7 担 当 教育支援部 伊藤悠樹 (TEL 083-987-1190 FAX 083-987-0209)

8 1期日程

時 間	内 容	講 師・指導助言者等
9:40～ 9:50	開講行事	
9:50～11:50	(講義) 【開】 複式学級、少人数のよさを生かした授業づくりの在り方 — 「個別最適な学び」 「協働的な学び」を視点に—	北海道教育大学釧路校 教 授 川 前 あゆみ
11:50～12:00	諸連絡	

※【開】開放講義（受講者以外の教職員も参加します。）

9 その他

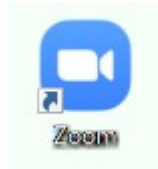
- (1) 欠席届及び講座実施に係る緊急情報等については、やまぐち総合教育支援センターのウェブサイト (<https://www.ysn21.jp/>) で御確認ください。ウェブサイトで確認ができない場合は、やまぐち総合教育支援センターへお問合せください。
- (2) オンライン研修の事前準備及び受講方法について
- ア 可能な限り安定したインターネット通信環境を確保するとともに、相互に音声・映像等をやり取りする活動ができるよう、マイク・カメラの機能を備えた端末を1人1台用意してください。同じ部屋で2人以上が参加する場合には、ヘッドホンの使用をおすすめします。

- イ Zoomの接続確認※₁をするとともに、アプリ（ミーティング用Zoomクライアント）を最新の状態にアップデート※₂してください。Zoomの最新バージョンは、ダウンロードセンター(<https://zoom.us/download>)から確認できます。（バージョンが古いと、正常に画面が映らない等の不具合が生じます。）
- ウ 事前に配付資料をダウンロードしてください。（ダウンロード方法は、やまぐち総合教育支援センターのウェブサイト「研修講座」→研修講座カレンダーに記載してある当該研修講座の備考欄「研修資料」をクリック。）7月14日（木）よりダウンロード可能です。
- なお、ダウンロードには、学校ID・パスワードの入力が必要です。
- エ 受講方法の詳細（ZoomのミーティングID・パスコード等）については、事前の研修資料と併せてお知らせします。

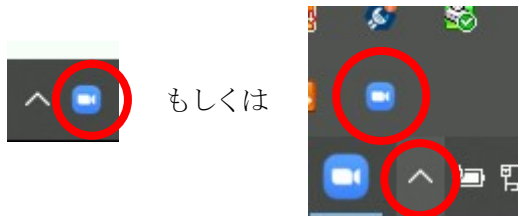
※1 Zoom 接続テスト → <http://zoom.us/test>

※2 インストールしているZoomのアップデート方法 (Windows)

①Zoomを開く。



②デスクトップ画面右下の、Zoomの小さいアイコンを右クリック
→「アップデートを確認」をクリック。



右クリック



※最新のものでなければ、アップデートが始まります。

※iPadにおけるZoomのアップデート方法

- ①App Storeアプリを開き、検索する等して「Zoom Cloud Meeting」アプリのページを開く。
- ②「アップデート」ボタンが表示されていれば、タップすることでアップデートされます。



山口県教員育成指標【教諭】

山口県では、教員に求められ、期待される資質能力を「山口県が求める教師像」に示しています。

山口県が求める教師像～未来を担う子どもたちにあなたの熱い情熱を！～

- ◎豊かな人間性と人権尊重の精神を身につけた人
- ◎強い使命感と倫理観をもち続けることができる人
- ◎児童生徒を共感的に理解し、深い教育的愛情をもっている人
- ◎幅広い教養と専門的知識、技能をもっている人
- ◎豊かな社会性をもち、幅広いコミュニケーションができる人
- ◎常に自己研鑽に努める意欲とチャレンジ精神のある人

「山口県が求める教師像」に示す資質能力は、教職生活を支える土台となるものであり、これらの資質能力をより確かなものとするために、教職生活全体を通じて充実・深化させていくことが大切です。

また、社会が急速に変化する中、本県教育の強みであるコミュニティ・スクールの仕組みを生かした「山口県の地域連携教育」や充実したICT環境を生かしながら、様々な教育課題に対応する力も求められています。

本指標は、「教職員人材育成基本方針」に示されたキャリアステージごとの役割と求められる資質能力に沿って、教員が高度専門職としての職責・経験等にに応じて身に付けるべき資質能力を具体化し、研修等を通じてその計画的・継続的な向上を図る際の目安を示したものです。

キャリアステージ		若手【自立・向上期】	中堅【充実期】
求められる資質能力		教育に対する強い使命感や情熱をもち、学校に活力を与えるとともに、学習指導や生徒指導等を行う際に必要な基礎的な知識や技能を基盤とした実践的指導力を発揮している。	専門分野の力を伸ばすとともに、身に付けた高い専門性を生かし、ミドルリーダーとして学校運営の一翼を担っている。
区分	項目		
学習指導に関すること	授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ○教科等に関する専門的な知識・技能を活用し、児童生徒の実態を踏まえて、ねらいを明確にした年間・単元・単位時間の授業を計画している。 ○授業のねらいを踏まえて適切な教材研究・開発を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の発達段階や習熟度、学校の重点課題等を踏まえ、創意工夫を凝らした授業を計画している。 ○授業のねらいを踏まえた教材研究・開発を行い、他の教員と共有している。
	授業実施	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な指導方法や場面に適した指導形態等を理解し、児童生徒の反応を見ながら個に応じた指導を行っている。 ○授業の中で児童生徒がICT等を積極的に活用する場面を設けて指導を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○指導方法や指導形態等を工夫し、児童生徒の反応を生かしながら主体的な学習を促す指導を行っている。 ○授業の中でICT等を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを充実させることで児童生徒の学力向上につなげている。
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ○指導と評価の一体化について理解し、評価規準を設定している。 ○指導と評価の計画に従って児童生徒の学習状況を把握し、次時や次単元の指導に生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○評価の信頼性を高めるために、評価規準や評価方法の改善を図っている。 ○評価を児童生徒の学力の向上を図る指導に生かしている。
	授業研究	<ul style="list-style-type: none"> ○日常的に授業を公開し、他の教員や地域の方々の指導・助言や授業評価を受け、自己のよさや課題に気づき、授業改善に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校外の教員等を対象とした研究授業を積極的に行い、授業評価も踏まえながら授業力の向上に努めている。
	授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的・対話的で深い学びについて理解し、授業を実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習目標に応じて適切な授業形態を用い、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行っている。